

ご参考

Press Information

**豊中市立東丘小学校（大阪府）における交通環境学習に
燃料電池車、クリーンディーゼル車を提供しました。**

2008 年 10 月 20 日

- ・ 豊中市の主催による小学校での交通環境学習
- ・ 小学校のグラウンドに 10 台の多彩な車両が集結
- ・ 自動車の役割や環境負荷軽減に関する学習をサポート
- ・ 行政、教育機関、企業が協力して実現する体験教室

メルセデス・ベンツ日本株式会社(以下 MBI、社長:ハンス・テンペル、本社:東京都港区)は、10 月 16 日に豊中市立東丘小学校(大阪府)で開催された「交通環境学習 クルマ大集合」にクリーンディーゼルエンジンを搭載した「メルセデス・ベンツ E 320 CDI」ならびに水素を燃料とした燃料電池車「メルセデス・ベンツ A クラス F-Cell(エフ・セル)」を提供しました。

この交通環境学習は豊中市が主催し、行政、教育機関、企業が子どもたちのために協力して作り上げた体験型の授業で、子どもたちが自動車の役割と存在の大切さ、環境への負荷を軽減するための一人一人の正しい行動の大切さを学ぶことを目的としたものです。

当日は、東丘小学校の 4・5 年生の 3 クラス計 94 名の児童が総合的な学習の時間の一環として参加、メルセデス・ベンツを含む 10 台の様々なクルマを小学校のグラウンドに集め、CO₂ の計測器による排出ガスの測定やディーゼルトラックとクリーンディーゼル乗用車の排出ガスの汚れを白いハンカチ調べる実験、エコカーの同乗試乗などを行ない、エコカーを通じて自動車の役割や環境負荷軽減について学びました。

この取り組みについてハンス・テンペル MBI 社長は「未来を担う子どもたちに自動車の役割や環境に対する取り組みを伝えるのは非常に大切なことです。今回の交通環境学習は豊中市役所 環境政策室のご尽力により、行政、教育機関、企業が協力して実現することができました。今後もこのような機会があればぜひとも協力させていただきたいと思います」と述べています。

なお、MBJ ではこの体験学習の導入授業として 10 月 9 日に社会科の自動車産業
単元と関連して、「のりものと環境」に関する授業も行ないました。

【概要】

日時： 10 月 16 日（木） 10:00～12:15

場所： 豊中市立東丘小学校グラウンド
（大阪府豊中市新千里東町 3-1-1）

参加者： 東丘小学校 4、5 年生 3 クラス 94 名の児童およびその保護者
総合的な学習の時間にて実施

参加した自動車：

ソーラーカー、ちびっ子ソーラーカー（芦屋大学）
燃料電池車、クリーンディーゼル車（メルセデス・ベンツ日本（株））
CNG 車（大阪ガス（株））
LPG 車（阪急タクシー（株））、
燃料電池車、ディーゼルトラック（大阪府）
消防車、CNG パッカー車（豊中市）

主催： 豊中市環境政策室



排出ガスを出さないメルセデス・ベンツの燃料電池車 F-Cell のマフラーを確認しながら説明を受ける児童たち（写真提供：豊中市 広報広聴課）